

機能毎の病床の状況について

病院名: 医療法人藤井会 香芝生喜病院 医療圏: 中和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度（2026年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 （注1）
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期		10床	12床	12床
	急性期	重症	91床	179床	172床
		軽症			
	回復期			0床	0床
	慢性期		50床	50床	48床
	休棟中 （今後再開する予定）				
	休棟中 （今後廃止する予定）				
	（合計）（自動計算）		151床	241床	232床
精神病床			0床	0床	0床
結核病床			0床	0床	0床
感染症病床			0床	0床	0床
介護医療院				0床	0床

(単位: 床)

(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
12床	2床
179床	88床
	0床
0床	0床
50床	0床
	0床
	0床
241床	90床
0床	0床
0床	0床
0床	0床
0床	0床

(単位: 人／日)

1日平均 在院患者数(注2)	
1日平均 外来患者数(注3)	

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：香芝生喜病院

医療圏：中和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（1）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

- ・当院は中和医療圏における病床数241床の民間病院で、開院以来住民の方から信頼される地域の中核病院になることを目指して運営を行ってまいりました。開院当初からは段階的に増床をすすめ、コロナ禍前は高度急性期10床・急性期136床・回復期(地域包括ケア)45床・慢性期50床でしたが、コロナ禍において回復期45床をコロナ病床12床(33床休床)へ転換して運用していました。令和5年5月8日以降はアフターコロナに対応すべく当院の病床を高度急性期12床・急性期179床・慢性期50床に変更。令和6年4月からはコロナ病床を一般病床へ転換しましたが、引き続き、個室12床で感染症も受け入れる体制と整えています。
- ・当院の最重点施策として、救急搬送受入は緊急手術を含めて、24時間・365日断らない病院を目指しています。奈良県ACS（急性冠症候群）ネットワークのほか、令和8年には奈良県急性腹症（腹痛・吐下血）ネットワークへの復帰も目指して準備していく予定です。
- ・小児医療については、引き続き一般外来、救急搬送受入及び入院加療の充実を図っていきます。
- ・令和4年4月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げました。今後は近隣在宅診療医を含めて、引き続き連携を図っていきます。
- ・令和8年6月には地域ニーズに応え、医療的ケア児／放課後等デイサービス施設の開設を予定しています。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

- ・原則「断らない」を基本方針とする。
- ・内科系高度急性期疾患（急性心筋梗塞、急性心不全、急性腹症）については、引き続き積極的に受け入れていきたい。
- ・外科系高度急性期疾患についても、これまで以上に積極的に受け入れていきたい。特に脳神経外科の救急受入は脳卒中（脳梗塞、脳出血）を含め、引き続き積極的に受け入れていきたい。
- ・奈良県の胸痛・冠症候群ネットワーク、葛城地区の二次救急輪番制および中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加させていただいており、引き続き当直帯も含めて、シームレスな救急搬送受入を出来る体制の維持が必要と考えています。
- ・ACS（急性冠症候群）ホットラインについては開設当初より循環器内科医が直接、救急隊からの受入れ要請に電話対応しています。また従来の救急ホットラインについても受入れまでの救急隊との連携をスムーズに行うため、事務職員から看護師による受電体制に変更しました。その他、消化器病相談電話を開設（消化器内科・外科が電話に対応）し、近隣クリニックからのシームレスな受入ができる体制を整備しました。
- ・令和8年には奈良県急性腹症（腹痛・吐下血）ネットワークへの復帰も目指して準備していく予定です。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

- ・近隣の在宅療養支援診療所と連携し、往診医から在宅患者の緊急の入院要請に対し、積極的に緊急時の救急受入依頼に対応しています。
- ・現在、13の診療所と在宅患者の緊急入院診療を受け入れる覚書を交わしています。
- ・入退院支援体制を強化（具体的には社会福祉士、入退院支援専従看護師の増員）し、在宅に帰られる患者さんのための在宅診療チームとのカンファレンスを密に質を向上していく。退院後早期の緊急受診等に速やかに受け入れられるような体制を構築する。

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

- ・医療従事者の中でも特定の職種（特に薬剤師）の獲得ができず、医療提供体制に影響がでている。
- ・医療従事者に限らず、調理部門、清掃部門、送迎部門などもこれまでの採用条件、求人方法では人材獲得に難渋している。病院とそれ以外の事業体（調剤薬局、飲食業、人材派遣業）との競合に競り負けない雇用条件、採用手法を病院も検討していかなければならないが、具体的方策については未定。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

肺：呼吸器；消化器；乳腺；泌尿器；（男性）生殖器；（女性）生殖器；骨軟部

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

実施している

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

実施している

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

実施している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

実施していない

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

実施していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

実施していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[2-10]特記事項

・常勤の循環器内科医が5名在籍し、最新の血管撮影装置を有しており、緊急対応を含めて、質の高い心臓カテーテル検査及び治療を提供しています。

胸痛・冠症候群ネットワークにも参加させていただいています。

また、同一法人内の石切生喜病院の心臓血管外科と連携し、心疾患に対する外科手術にも対応しています。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施している

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施している

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施している

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

- ・日本脳卒中学会の一次脳卒中センターの認定を受けています。
- ・常勤の脳神経外科医1名と脳卒中専門医2名が在籍し、最新の血管撮影装置を有しており、各種開頭手術を行っています。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加している

[4-6]特記事項

- ・ 常勤の救急担当医 1 名 (救急科専門医) と非常勤救急担当医 (5 名) で日中の救急科体制を整え、夜間については常時 1 名以上の常勤医師従事体制と非常勤医師による、24 時間 365 日の救急受入体制を構築しています。
- ・ 葛城地区病院群輪番制運営協議会に参加しています。
- ・ 中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。
- ・ 令和 8 年には奈良県急性腹症 (腹痛・吐下血) ネットワークへの復帰も目指す方針です。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施していない

[5-5]通所リハビリの実施

実施していない

[5-6]今後の方向性

- ・理学療法士12名、作業療法士7名、言語聴覚士4名が在籍し、早期より集中的にリハビリテーションを行っています。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

- ・近隣の在宅療養支援診療所と連携し、往診医から在宅患者の緊急の入院要請に対し、積極的に緊急時の救急受入依頼に対応しています。
- ・現在、13の診療所と在宅患者の緊急入院診療を受け入れる覚書を交わしています。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応している

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ある

[7-3]上記でありの場合、その名称

・2022年4月より藤井会香芝訪問看護ステーションを立上げしています。 ・藤井会香芝訪問看護ステーションの立上げに伴い、より一層、香芝市内の在宅診療を行う開業医との連携を強化していきます。

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について

定めている

[8-2]特記事項

・人生会議委員会を立上げて活動しており、2021年1月に厚労省のガイドライン等の内容を踏まえた「香芝生喜病院における適切な意思決定支援に関する指針」を定め、患者用冊子「もしものときのために」を作成し、患者さまへの配布により周知活動を行っています。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[9-2]小児入院医療管理料の算定

算定している

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

算定していない

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

受け入れている

[9-5]特記事項

- ・常勤の小児科医が4名在籍しており、朝診に加えて、小児アレルギー・ワクチン外来も実施しています。また、入院病床10床を小児専用病床として運用しています。
- ・中南和地区の小児科病院二次輪番体制に参加しています。
- ・令和8年6月に「放課後等デイサービス」「児童発達支援」（重症型）を病院敷地内に開設する計画があります。→医療的ケア児を受け入れて行く

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

・2020年8月に香芝市と「災害時における入院に関する協定書」を締結し、災害時には要救護者を優先して受け入れる様にしている等、自院で対応可能な範囲で協力していきます。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けていない

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

受けている

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

該当する

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

該当する

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

該当する

[13-7]特記事項

- ・現在、奈良県立医科大学の協力型臨床研修病院、大阪市立大学医学部付属病院の臨床研修協力施設となっており、一部研修医の受入を行っています。
- ・令和5年1月1日付けで協力型臨床研修病院の指定を受けています。
- ・令和6年から内科専門研修施設の承認を受けています。

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[15-3]特記事項

同一法人内の特定行為研修の指定研修機関の石切生喜病院で特定行為研修を実施しており、現在当院は協力施設。